



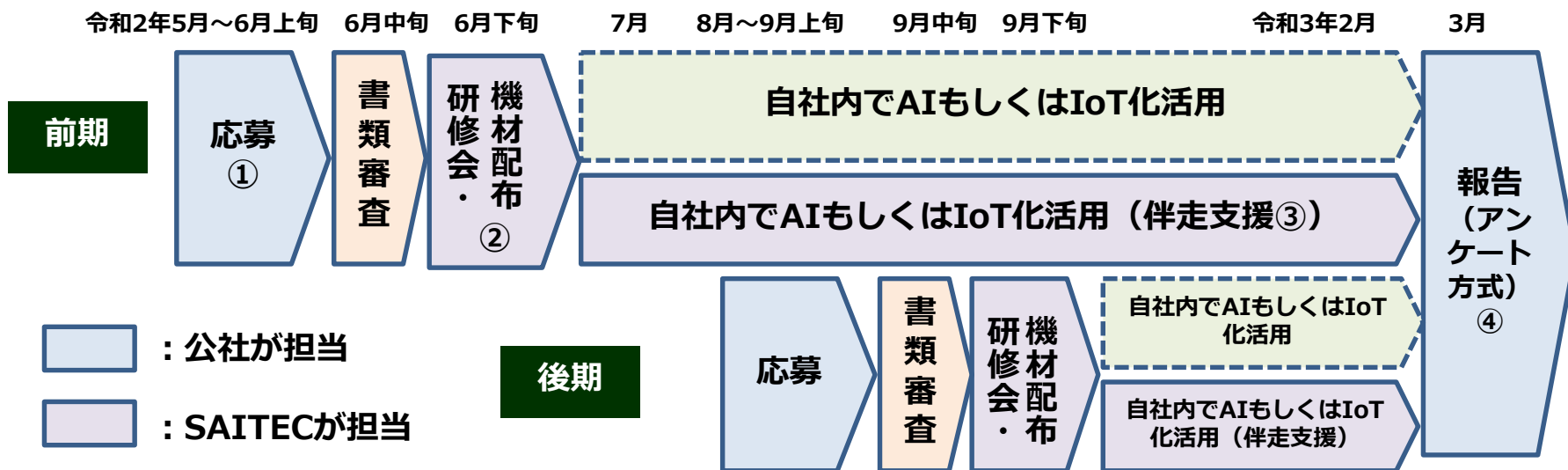
## ものづくりAI・IoT化支援事業

**（会員限定）**

※未会員の場合は研修会参加までに  
入会が必要になります。

この事業は、簡易で安価なシングルボードコンピュータ（Raspberry Pi 3）を活用し、ものづくりの現場におけるAI・IoT化のシステム導入を体験することにより、AI・IoT化の効果を見出すことを目的としています。

### 1. 実施内容：スケジュール等はおくまでも予定です。



①：公社HPより応募（応募書類は、HPよりダウンロードしてメールで提出していただく方式）

②：研修会は、SAITEC（川口市）で実施。実施後、機材を配布。

③：伴走支援は、現場での試行的導入を行う企業に対する技術支援（初歩的なものは除く）

④：報告（アンケート方式）は、実際に自社内で活用のために試行体験した結果の報告



2. 応募資格 : 一般会員（県内中小企業製造業）
3. 配布機材（予定） : シングルボードコンピュータ（Raspberry Pi 3）  
電源、マイクロSDカード、センサー類（一部）、教本
4. 応募条件 : ① Raspberry Pi 3を使って、自社内業務のIoT化或いはAI化を  
試行してみたい、或いは体験してみたいと考えている企業  
② 一部導入をしているが、更に活用範囲を増やしたいと  
考えている企業など
5. 書類審査 : 「応募資格を満たしているか」「配布機材の活用用途が  
今回の応募条件に合っているか」等の審査を実施
6. 研修会 : 会場はSAITEC（川口市）で実施し、3時間の研修を予定。  
内容は、「Raspberry Pi利用方法」「プログラミング方法」等の  
研修後、Raspberry Pi等を配布
7. 伴走支援（無料） : 自社内の工作機器等に組み込み、試行体験を実施したい企業  
に対して、SAITECの技術者が支援します。（回数限定）  
初歩的な質問等は対象外とします。
8. 結果報告 : 令和3年3月に、アンケート方式で体験に対する報告を頂きます。

## 8. 補助金事業 (会員限定)

※未会員の場合は採択された際に、入会が必要となります。

資金支援



1. 名称： 令和2年度「A I・IoT・ロボットシステムトライアル補助金」

2. 対象者：

- ・ 製造業の県内中小企業であること（中小企業等経営強化法及び総務省が定める日本標準産業分類の「製造業」）
- ・ 埼玉県内に登記簿上の本店及び主たる事務所を有すること、若しくは埼玉県内に技術開発又は生産の拠点を有すること。
- ・ なお、本事業における補助対象物件は、原則として埼玉県内の事業所で供用すること。又、「みなし大企業」は除く。  
(※：「みなし大企業」の定義は、応募要項をご覧ください)

3. 補助対象（基本条件等）：

- 1) 補助金項目としては、下記の3つの分野に分かれ、併願及び他の補助金との併用は不可とする。（各項目の詳細は後述）  
①「AIシステム」②「IoTシステム」③「ロボットシステム」
- 2) 生産工程にIoT、AI、ロボット技術を活用し、生産性向上や経営改善に結び付く事業であること。  
(指標としては、経営改善に結び付く具体的な数値目標を記載する事：内容は後述)

## 8. 補助金事業 (会員限定)

※未会員の場合は採択された際に、入会が必要となります。

資金支援



3) 各補助金項目の明細は下記の通り。

項目	AIトライアル補助金	IoTトライアル補助金	ロボットシステムトライアル補助金
事業内容	AIソフトウェアの単独開発（判断機能のみ）ではなく、IoT技術で得られたデータを元に、AIによって判断された事に対して、瞬時に動作する、何らかのフィードバック機能を有するシステムであること	IoTの要素技術（各種センサー、カメラ、RFID）により機械・設備等の稼働状況をリアルタイムで把握（稼働データ、映像等）し、そのデータの分析結果の『見える化』等により、生産性向上につなげる。また、解析結果で生産機械の制御を行う等のシステムであってよい。	産業用ロボットの単体導入ではなく、IoT機器等からの情報と連携し（AI機能との連携もある）動作を制御されるロボットシステムを構築する事。なお、自動搬送、自動組み立て等の装置もしくは治具とIoTシステムを連動させる簡易なファクトリーオートメーションシステムでもよい
補助金額	500万円	200万円	300万円
補助率	2/3	2/3	2/3
目標評価指標 (定量的)	●経営改善指標 (但し、経営改善指標の定量的算定においてAI指標（例：認識率、正答率）を前提にした指標を組み込むこと)	●同左 (生産性向上、リードタイム短縮、品質強化、コストダウン、競争優位性向上 等)	●同左 (但し、ロボット等をシステム連動する事による改善目標を内訳として明確にすること)

## 8. 補助金事業 (会員限定)

※未会員の場合は採択された際に、入会が必要となります。

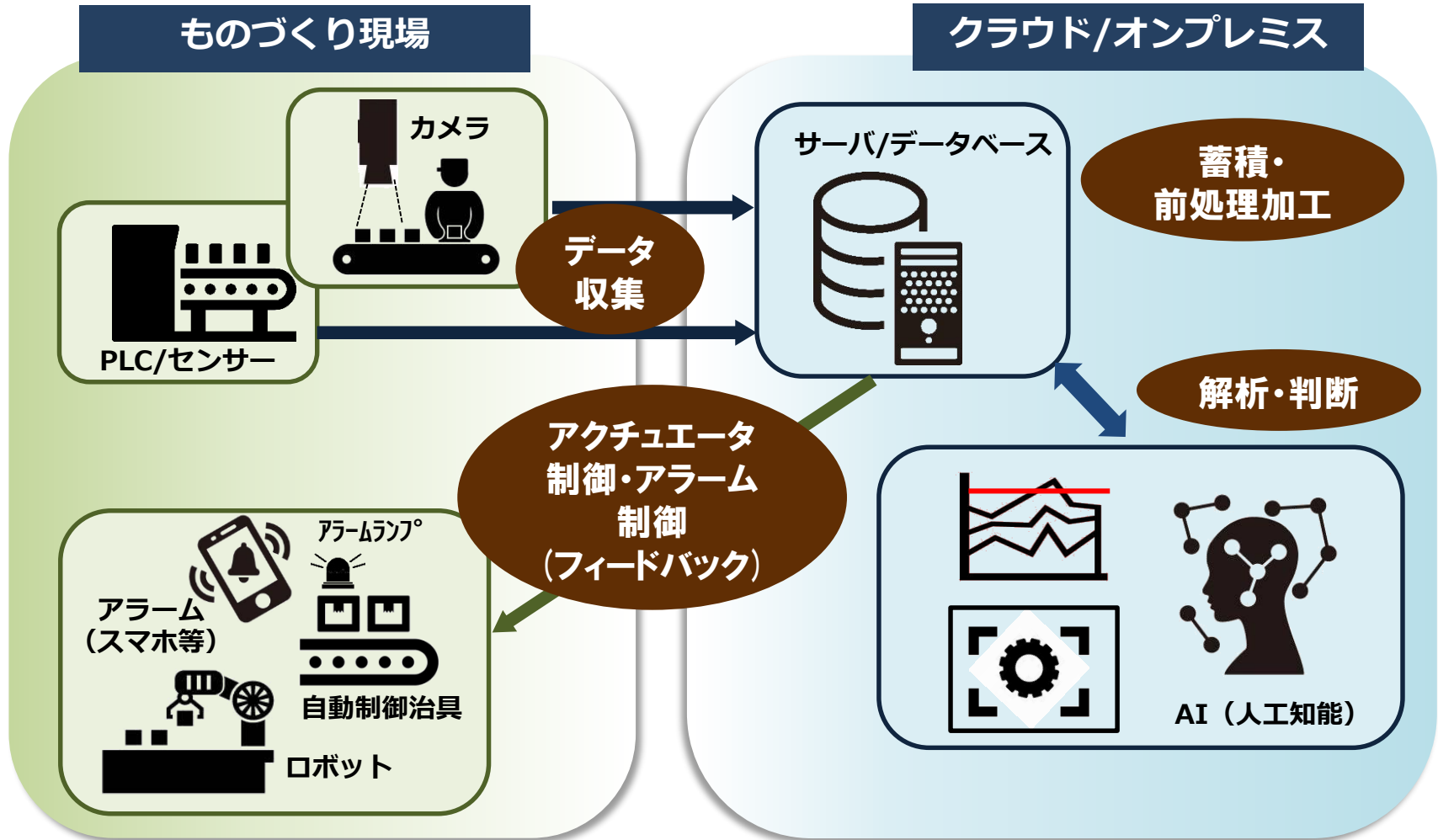
資金支援



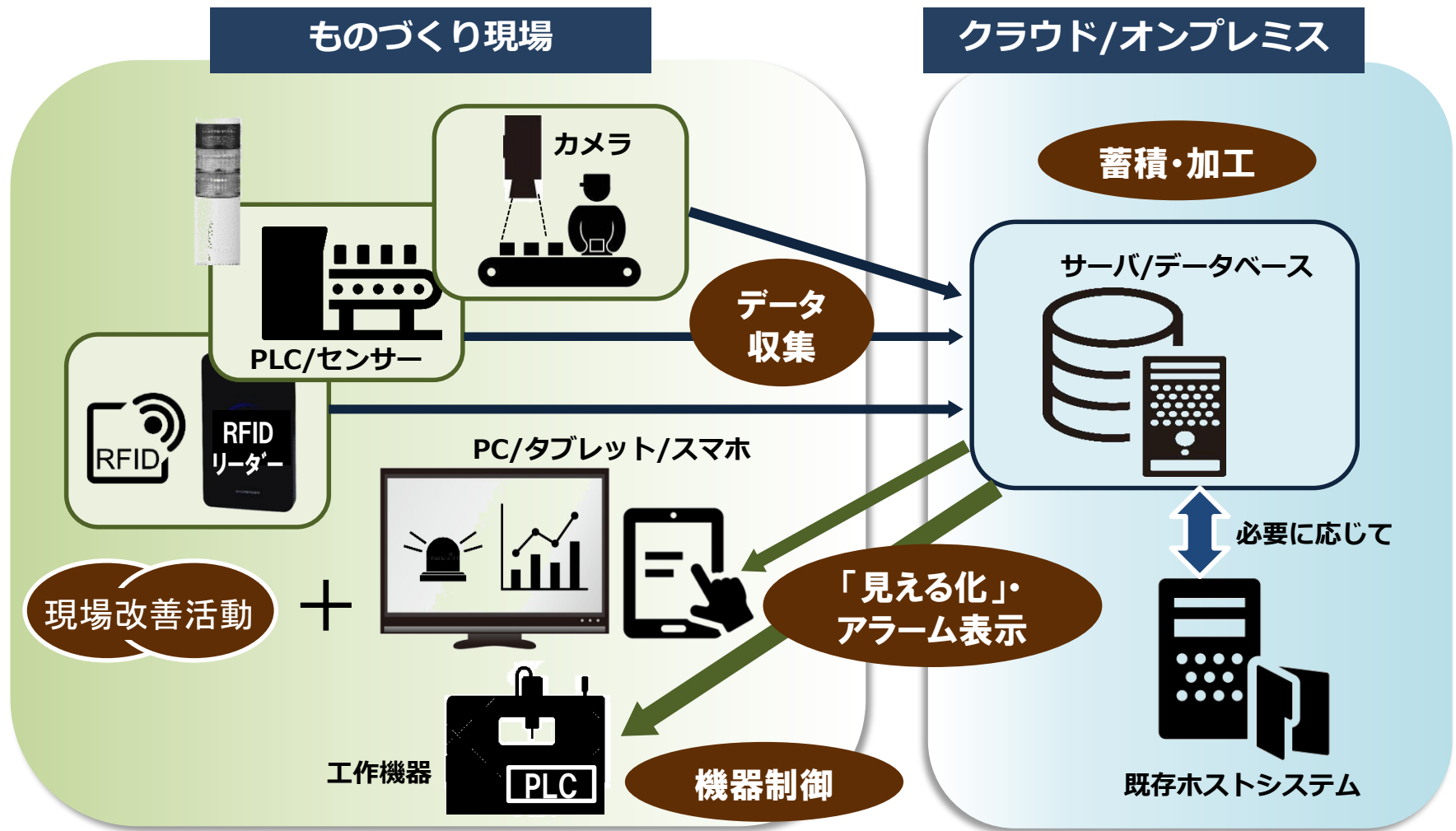
- 4) 補助対象物 (AI、IoT、ロボット機器及びそれらのソフトウェア) が、設置される事業であること。既存システム連携も対象となる。なお、新製品開発事業及び、一体型機器 (例: AI 判定画像検品装置) や単体型ロボット (ティーチングのプログラミングで動作) で完結する事業は対象外とする。
- 5) この事業を通して、AI、IoT、ロボット活用のノウハウを習得し、今後導入を検討する県内中小企業に対して、参考になる情報を提供できるなどの波及効果が見込まれるものであること。
- 6) 補助事業の遂行は補助事業採択企業が主体となって取り組むものであり、「企画から事業完結までの事業推進」を外部のシステム開発業者等に全面委託してはならない。自社で本事業を遂行できる能力を有するプロジェクトマネージャーを選任し、事業推進を自ら行うこと。
- 7) 補助事業としての採択後、補助事業の情報 (企業名、事業テーマ、補助金額、実施内容 (企業秘密部分は除く) 等の公表・公開が可能であること。

**(注) なお、採択された企業の皆様には、「AI・IoTコンソーシアム」会員に登録いただくことが必要となります。**

## 参考例：AIシステム



## 参考例：IoTシステム



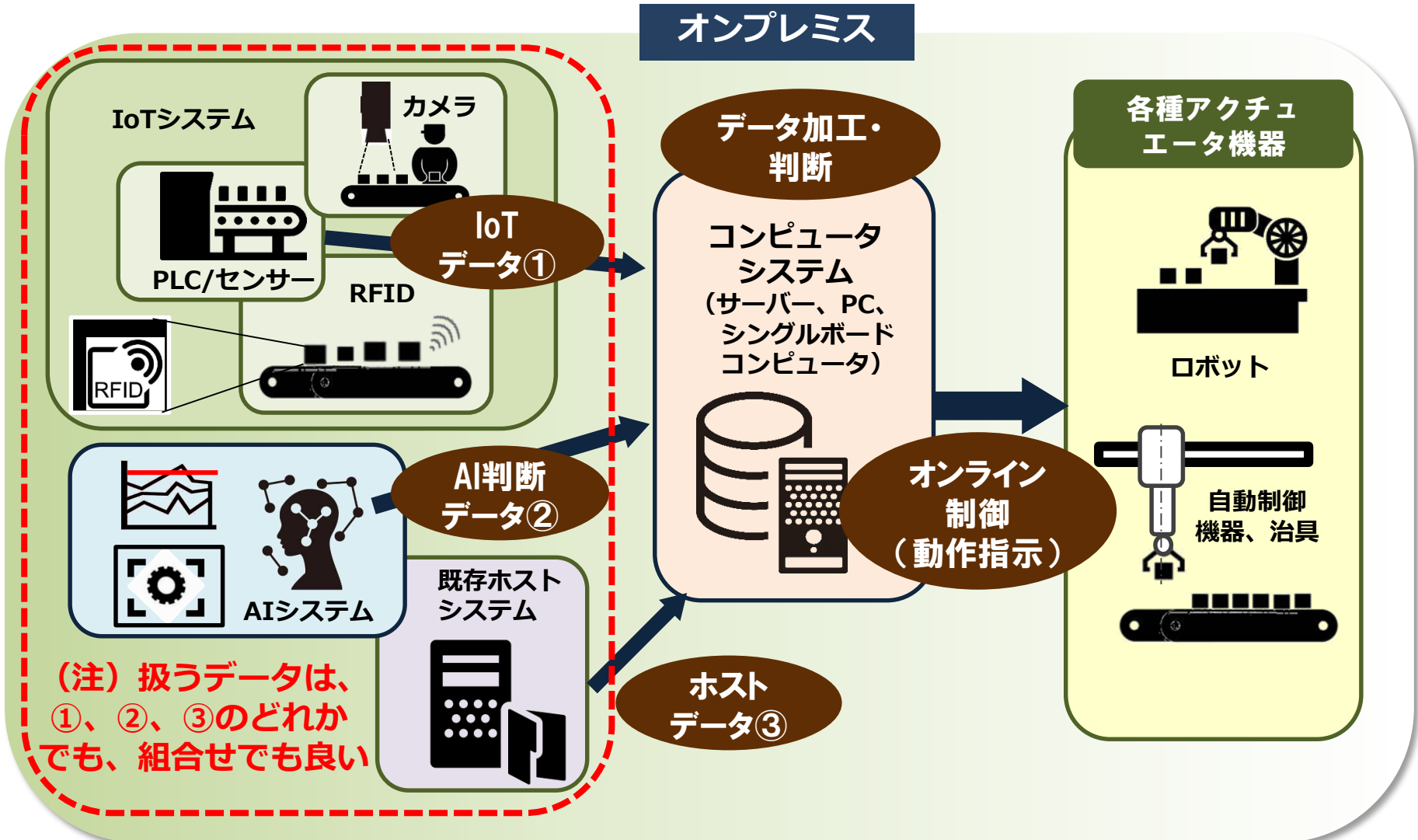
# 8. 補助金事業 (会員限定)

※未会員の場合は採択された際に、入会が必要となります。



## 参考例：ロボットシステム

点線枠の部分は、新規導入でも  
既存所有システムの増設・改造でも良い。





日経XTECH記事より：<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/mag/rob/18/00004/00035/>

## ロボスタの記事資料を引用

<https://robotstart.info/2020/02/13/canon-smfexpo.html>

4. **実施期間**： 交付決定日～令和3年2月28日、なお、最終検収検査は3月上旬の予定。また、中間検査を12月中旬に実施予定。
5. **公募期間**： 令和2年4月1日（水）～5月15日（金）17：00必着  
（郵送又は持参）
6. **対象経費等**：
- ① 機械装置・器具購入費、ソフトウェアパッケージ購入費  
自社設備改造費（今回の事業に関わるもの）
  - ② クラウド使用料等  
（交付決定日以降契約日から令和3年2月28日まで）
  - ③ 委託費  
ハードウェア設計、ソフトウェア開発費  
（委託費の上限として、原則として補助額の1/2を超えないものとする。）
  - ④ 技術指導費  
（開発を委託する会社と同じ企業から技術指導を受け  
る場合には、一連のシステム開発の作業と判断し、  
技術指導費ではなく委託費とする）
  - ⑤ 外注費
  - ⑥ その他経費

### 7. 審査方法その他全体スケジュール：

#### 1) 審査について

応募申請書に基づき1次書類審査を実施します。この1次書類審査の通過者を対象にした2次審査として、対象システムを構築する現場の現地調査（5月25日～6月5日の期間内）及び事業計画のプレゼンテーション（6月上旬）を実施します。採択結果は6月下旬に連絡予定。

#### 2) 補助事業の開始

交付決定日以降に補助事業を開始してください。

#### 3) 中間検査

中間報告書〔12月11日（予定）まで〕を提出後、中間検査を実施します。この中間検査において、事業実施期間内に稼働が見込めない場合は、補助を中止します。

#### 4) 補助事業の終了

令和3年2月28日までに事業を完了させてください。

#### 5) 補助金の支払

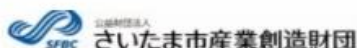
完了報告書（令和3年3月10日まで）を提出後、公社が確定検査を実施し、補助金の額を確定します。補助金の支払いは、この補助金額確定後の精算払いとなります。（支払は3月末を予定）。

※ 募集要項等の詳細に関しては、公社HPよりダウンロードしてお確かめ下さい。

埼玉県におけるAI・IoT推進に当たって、埼玉県、SAITEC、埼玉県産業振興公社、さいたま市産業創造財団の4機関が核となって連携し、外部の関連団体のアドバイスを頂きながら、AI・IoTに関連する支援事業を展開しています。

## 連絡会議による連携

委員(4団体)

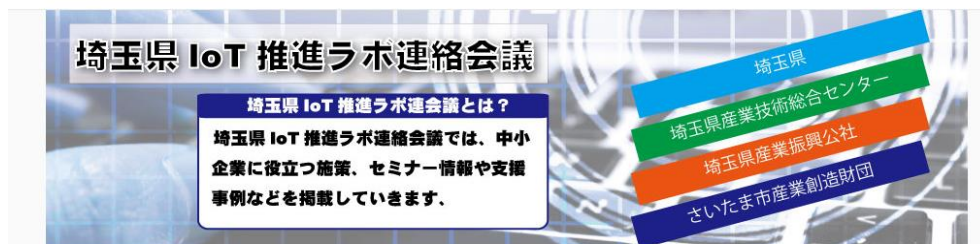


## HPによる情報提供

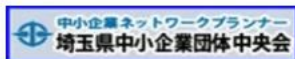
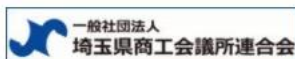
HPアドレスは、“<http://saitamalab.com>”



埼玉県IoT推進ラボ連絡会議とは | IoT事例 | IoTセミナー、講座



オブザーバー(7団体)



## 10. 問い合わせ、その他

- ◆ お問い合わせは・・・公益財団法人埼玉県産業振興公社  
新産業振興部（IoT・技術支援グループ）

**（AI・IoT活用支援事業担当）**

**大谷グループリーダ、荒井主任調査役、岡主査、西野主査、石井主任  
三神コーディネータ、山脇コーディネータ、篠原コーディネータ  
市橋（事務担当）**

〒338-0001 埼玉県さいたま市中央区上落合2-3-2 新都心ビジネス交流プラザ3階  
TEL 048-621-7051 FAX 048-857-3921 Email [iot@saitama-j.or.jp](mailto:iot@saitama-j.or.jp)  
URL <https://www.saitama-j.or.jp/iot/>

**\* : コロナウイルス感染拡大防止のため、このような形でのお知らせとなりました。  
ご質問や確認したいことがございましたら、お気兼ねなく上記メンバーに  
お電話、メール等でご連絡ください。TV会議での対応も可能です。  
お気軽にご相談ください。皆様の各事業へのご参画をお待ちしております。**

**（注）コロナウイルス感染の沈静化の見通しが付きません。そのため、スケジュール  
の変更が出るかもしれませんので、その場合にはご了承ください。**